

※同一科目の昨年度以前の内容です。

授業科目名	看護学
授業科目名（英字）	Nursing
時間割	前期 火曜日 2校時 L-4 2 2
対象年次及び学年	1年次
担当教員	金正 貴美 今井 多樹子 野原 留美 山本 美輪
ナンバリングコード・水準	B2
ナンバリングコード・分野	NRS
ナンバリングコード・ディプロマ・ポリシー(DP)	bdc
ナンバリングコード・提供部局	G
ナンバリングコード・対象学生	1
ナンバリングコード・特定プログラムとの対応	0
ナンバリングコード・授業形態	Lg
ナンバリングコード・単位数	2

関連授業科目	心と体の健康 国境を超えて健康を考える 医学
履修推奨科目	心と体の健康 国境を超えて健康を考える 医学 体の健康の仕組み コミュニティと住環境 身近な生活における支援を考える
学習時間	講義90分 × 15回 + 自学自習（準備学習18時間+事後学習42時間）
授業の概要	看護学は、自然科学と人間科学の双方の要素を持ち、健康に関連して人々が示す反応の意味を探索し、人々の生活をベースに健康の維持増進、疾病予防、疾病回復への専門的援助を探究する学問である。看護援助は人との相互作用を基盤として提供され、その領域は、すべての発達段階、すべての健康の段階にある人間、家族、地域の健康問題にまで広がっている。看護学では、看護について幅広い知識を概説するとともに、各看護領域における看護の特徴をわかりやすく紹介する。この科目では、課題深求のプロセスに実践を通じて関与することができます。（D科目）
授業の目的	看護学について幅広い知識を獲得し、多様な健康の状態にある個人、家族、集団、地域の固有の健康問題やその反応、健康の維持・増進に向けた援助的専門的アプローチへの理解を深め考えることができる。
到達目標	1. 地域社会における看護の役割について述べるができる（共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応）。 2. 様々な人を対象とする看護の特徴について説明することができる（共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応）。 3. 様々な場面における看護の現状と課題について説明することができる（共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」、「市民としての責任感と倫理観」に対応）。
成績評価の方法	授業ごとの課題レポートにより、総合的に評価する。評価は授業ごとの課題レポート得点の和で100%とする（到達目標1～3に対応）。
成績評価の基準	成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀（90点以上100点まで）到達目標を極めて高い水準で達成している。 優（80点以上90点未満）到達目標を高い水準で達成している。 良（70点以上80点未満）到達目標を標準的な水準で達成している。 可（60点以上70点未満）到達目標を最低限の水準で達成している。 不可（60点未満）到達目標を達成していない。
	授業計画 第1回：授業ガイダンス：授業の概要、授業の目的と到達目標、成績評価の方法と基準、授業計画と授業および学習の方法、オフィスアワー、看護と社会の課題との関連についての学習方法について（金正） 第2回：看護の考え方：看護の定義、役割・機能、主要概念（今井） 第3回：看護の対象理解：対象となる人間、生活、環境、健康（今井） 第4回：医療・看護における倫理：インフォームドコンセント、職業倫理、倫理的ジレンマと課題（今井）

<p>授業計画並びに授業及び学習の方法</p>	<p>第5回：国民の健康状態と生活、ヘルスプロモーション（今井）</p> <p>第6回：家族のはじまりを支える看護の役割（野原）</p> <p>第7回：青年期における母性看護の役割：性感染症予防・デートDVについて（野原）</p> <p>第8回：周産期の看護：妊娠・出産・母乳の神秘（野原）</p> <p>第9回：高齢者の特徴と看護の役割（山本）</p> <p>第10回：高齢者の死生観（山本）</p> <p>第11回：認知症の理解とケア・アルツハイマー型認知症（山本）</p> <p>第12回：認知症高齢者とその家族へのケア（山本）</p> <p>第13回：成人看護の対象の特徴、摂食嚥下障害のある患者の看護（金正）</p> <p>第14回：成人看護の対象の特徴、循環器系疾患を持つ患者の看護（金正）</p> <p>第15回：成人看護の対象の特徴、終末期看護、最後のまとめ（金正）</p> <p>*この科目は対面授業と一部遠隔授業を行います。ただし感染対策のため、遠隔授業になる可能性もあります。</p> <p>【自学自習に関するアドバイス】</p> <p>第1回：日本看護協会ホームページ（URL：<a href="https://www.nurse.or.jp/home/publication/index.html">https://www.nurse.or.jp/home/publication/index.html</a>）を参照し、看護と社会の課題との関連について調べる。（4時間）</p> <p>第2, 3回：事前に、「看護とは何か」について調べ、自分（家族を含む）事として、健康問題を抱える人の立場で考えをまとめておく。（各回4時間）</p> <p>第4回：事前に、職業倫理について調べ、自分の考えをまとめておく。（4時間）</p> <p>第5回：国民の健康状態と生活、ヘルスプロモーション。（4時間）</p> <p>第6回：現代の子育て期の家族のおかれた状況と、妊娠前からできる子育て支援について考える。（4時間）</p> <p>第7回：性感染症予防とデートDVについて、これまで学校（小中高校）で学んだことを復習しておく。（4時間）</p> <p>第8回：事前に妊娠・出産・母乳育児について、知っていることをまとめておく。（4時間）</p> <p>第9回：第9～12回 事前に資料を配布するため、その資料を読んで受講してほしい。 参考：山本美輪他；これからの高齢者ケア～知る・識る・共感する～出版社シーブリアル（購入不要、準備・事後学習 各回4時間）</p> <p>第13回：摂食嚥下のしくみや摂食嚥下障害について復習するとともに、自分の考えをまとめておく。（4時間）</p> <p>第14回：慢性疾患とはどのような病気なのか、また慢性疾患を持つ人のセルフケアの課題について、新聞や本をみて考える。（4時間）</p> <p>第15回：人生の最終段階におかれた人のニーズや死をとりまく社会的状況について、新聞や本をみて考える。（4時間）</p>
<p>教科書・参考書等</p>	<p>教科書は指定していません。参考書は授業中に適宜紹介します。</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>履修上の注意・担当教員からのメッセージ</p>	<p>前期 火曜日13：00～16：00 医学部キャンパス看護学科教育研究棟 各教員研究室 事前に教員にメールで、予約をとってください。</p> <p>香川大学Moodleを基盤にしており、講義資料やお知らせなどアップロードするため、毎回よくみて下さい。 初回の講義は必ず出席し、授業ガイダンスについてよく理解しましょう。毎回出席をとります。 履修希望者が多い場合は抽選とします。 講義は教室での対面と一部遠隔です。欠席する場合には、できるだけ事前に教員に連絡し、特別な事由による場合は欠席届を提出してください。</p>
<p>参照ホームページ</p>	<p>授業計画並びに授業及び学習の方法の各回ごとに記載する。</p>
<p>メールアドレス</p>	<p>講義ごとに質問をメールで受け付ける。教員のメールアドレスは以下のとおりである。 第2～5回 メールアドレスは授業開始後に周知する 第6～8回 nohara.rumi@kagawa-u.ac.jp 第9～12回 yamamoto.miwa@kagawa-u.ac.jp 第1,13～15回 kinsho.takami@kagawa-u.ac.jp</p>
<p>教員の実務経験との関連</p>	<p>担当教員は、各領域における専門施設での実務経験を基盤とし、看護実践能力、教育実践能力、研究能力、マネジメント能力、コミュニケーション能力で構築された講義（又はグループワーク指導）を行います。</p>
<p>特記事項</p>	<p>障がい等により本授業の受講に際し特別な配慮を要する場合は、所属学部・研究科の学務係（医学部・医学系研究科は学生係）又はバリアフリー支援室に事前に相談してください。</p>